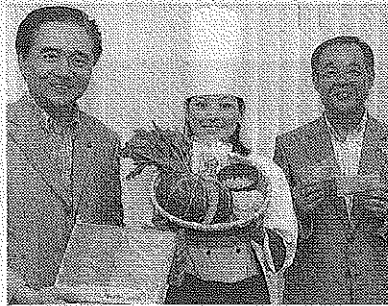


### 県の農産物使い 焼き菓子完成

「ありあけ」12日から販売

菓子メーカー「ありあけ」(横浜市)が12日から、県内の貴重な農産物を使った焼き菓子「ベジフルハーバー」を販売する。「かながわ食の大使」を務める野菜スイーツパティシエ柿沢安郎さん(写真中央)の協力で1年がかりで完成させた。津久井在来大豆のきな粉



などを使った緑色と、三浦かぼちゃや湘南ゴールドを使った黄色の菓子の2種類。いずれも旬の時期に収穫して使用した。県も農産物の調達で協力した。

2種類が5個ずつ入って1箱1050円。直営店を中心に県内全域で限定3万箱を販売する。柿沢さんは「神奈川の野菜を使ったお土産を作りたいかった。自給率が低い国産の野菜を盛り上げたい」と話した。

### 戦争体験語り継ぎ

### 平和な生活考える

13日、横浜朝日会館

朝日新聞の読者らによる「戦争体験を語り継ぐ会」が13日、横浜市の横浜朝日会館(中区日本大通15)で開かれる。同会は30年近く前に、朝日新聞神奈川版の